

水質検査結果のお知らせ

水質基準 46項目

水道水が安全であるために、水道法により水質基準46項目が定められています。水道局では、信濃川の水を原水とする水道水と阿賀野川の水を原水とする水道水をそれぞれ市内で採水し、水質基準の全項目について検査を行いました。結果は、表のとおり全ての項目において基準値を満たしています。

新潟市の水道水はいつでも安心してご飲みいただけます。



全ての項目において安全性を確認

平成15年9月3日検査結果

分類	項目名	水質基準値	信濃川水系	阿賀野川水系
			(信濃町)	(本所)
水道法健康基準	1 一般細菌	100個/ml以下	0個/ml	0個/ml
	2 大腸菌群	検出されないこと	検出されず	検出されず
	3 カドミウム	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
	4 水銀	0.0005mg/l以下	検出せず	検出せず
	5 セレン	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
	6 鉛	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
	7 ヒ素	0.01mg/l以下	0.0002mg/l	0.0002mg/l
	8 六価クロム	0.05mg/l以下	検出せず	検出せず
	9 シアン	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
衛生項目	10 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l以下	0.66mg/l	0.32mg/l
	11 フッ素	0.8mg/l以下	0.06mg/l	0.06mg/l
	12 四塩化炭素	0.002mg/l以下	検出せず	検出せず
	13 1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下	検出せず	検出せず
	14 1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/l以下	検出せず	検出せず
	15 ジクロロメタン	0.02mg/l以下	検出せず	検出せず
	16 シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	検出せず	検出せず
	17 テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
	18 1,1,1-トリクロロエタン	0.006mg/l以下	検出せず	検出せず
	19 トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	検出せず	検出せず
衛生項目	20 ベンゼン	0.01mg/l以下	検出せず	検出せず
	21 クロロホルム	0.06mg/l以下	0.0138mg/l	0.0105mg/l
	22 ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.0033mg/l	0.0032mg/l
	23 プロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.0091mg/l	0.0082mg/l
	24 プロモホルム	0.09mg/l以下	0.0002mg/l	0.0002mg/l
	25 三トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.0264mg/l	0.0221mg/l
	26 1,3-ジクロロベン(D-D)	0.002mg/l以下	検出せず	検出せず
	27 シマジン(CAT)	0.003mg/l以下	検出せず	検出せず
	28 チオラム	0.006mg/l以下	検出せず	検出せず
	29 チオベンカズベチカカーブ	0.02mg/l以下	検出せず	検出せず

分類	項目名	水質基準値	信濃川水系	阿賀野川水系	
			(信濃町)	(本所)	
水道法に基づく水質基準項目	30 亜鉛	1.0mg/l以下	0.001mg/l	検出せず	
	31 銅	0.3mg/l以下	0.007mg/l	検出せず	
	32 鉄	1.0mg/l以下	0.001mg/l	0.001mg/l	
	33 ナトリウム	200mg/l以下	9.8mg/l	7.6mg/l	
	34 マンガン	0.05mg/l以下	検出せず	検出せず	
	35 塩素イオン	200mg/l以下	10.1mg/l	7.7mg/l	
	36 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	22.0mg/l	16.9mg/l	
	37 蒸発残留物	500mg/l以下	67mg/l	61mg/l	
	38 陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	検出せず	検出せず	
	39 1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/l以下	検出せず	検出せず	
衛生項目	40 フェノール類	0.005mg/l以下	検出せず	検出せず	
	41 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	10mg/l以下	1.6mg/l	1.4mg/l	
	42 pH値	5.8以上8.6以下	7.6	7.6	
	43 味	異常でないこと	異常なし	異常なし	
	44 臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	
	45 色度	5度以下	検出せず	検出せず	
	46 濁度	2度以下	検出せず	検出せず	
	衛生	47 遊離残留塩素	0.1mg/l以上	0.5mg/l	0.5mg/l
	臭指導項目	48 アンモニア性窒素	-	検出せず	検出せず

「検出せず」...定められた方法により検査した結果、各項目毎に測定できる量(重量下限値)未満となったこと。過去の水質検査結果については、水道局ホームページにおいて公開しています。また、年間のデータをもとめた「水質年報」を市役所内市政情報案内室でご覧いただけますし、水道局水質管理センター(電話266-7466)でも照会に応じています。

ひとくち解説



遊離残留塩素(No.47)

水道水が安全であるために、各家庭の水道水には消毒用の残留塩素が保たれていなければなりません。水道局では、安全性やにおいの観点からも適正な残留塩素の管理を行っています。

三トリハロメタン(No.25)

川の水に含まれる汚れ(有機物質)と浄水場で注入する塩素が反応してできる化学物質の総称です。水道局では、沈澱処理や粉末活性炭を利用し、汚れを取り除いた後に塩素を注入することで、トリハロメタンを低くしています。

また、現在建設中の浄水場では、より安定して有機物質などの汚れを取り除けるよう高度浄水処理を導入します。

pH値(No.42)

酸性・アルカリ性の強さを簡単な指数で表したものです。pH7を中性とし、値が小さくなるほど酸性が強くなり、値が大きくなるほどアルカリ性が強くなります。水質基準では5.8以上8.6以下の弱酸性から弱アルカリ性の範囲とされ(大部分の自然水はこの範囲に入る)、より質の高い水道水を供給するための目標値として定められた快適水質項目としては7.5程度とされています。

また、pH値10以上の水で炊飯するとご飯が黄色します。

おしえて!



水太郎

数値で見るペットボトル飲料水と水道水の違い

近年、スーパーマーケットなどでよく見かけるペットボトル入り飲料水、そのほとんどは「ナチュラルミネラルウォーター」に分類されています。(右表参照) 下の表は新潟市の水道水と一般的に市販されている「ナチュラルミネラルウォーター」の中から代表的な商品について分析した結果です。各商品毎に数値の大小はありますが、新潟市の水道水にも自然のミネラルが程よく含まれ、「ナチュラルミネラルウォーター」と遜色ないことが分かります。

水質分析表

分析項目	新潟市水道水	ナチュラルミネラルウォーター		
		国内産(A社)	国外産(B社)	
味覚	硬度	22.0mg/l	72.5mg/l	63mg/l
	有機物等	1.6mg/l	0.4mg/l	0.4mg/l
	蒸発残留物	67mg/l	176mg/l	128mg/l
	カルシウム	6.1mg/l	24.7mg/l	12mg/l
ミネラル	マグネシウム	1.6mg/l	5.1mg/l	7.9mg/l
	ナトリウム	9.6mg/l	18.1mg/l	11mg/l
	カリウム	1.5mg/l	0.5mg/l	5.8mg/l
pH値	7.6	7.6	7.1	
1リットル当たりの単価	注1 0.114円/l	133円/l		
新潟市の水道料金との比較	1	1167倍		

新潟市水道水は9月3日信濃川系(信濃町)における数値
注1:口径13mm、水量20ℓ(14年度一般家庭での1ヶ月平均使用水量)の水道料金を1ℓ当たりに換算。

農林水産省「ミネラルウォーター類(容器入り飲料水)の品質表示ガイドライン」より抜粋		
品名	原水	処理方法
ナチュラルウォーター	特定水源より採水された地下水	
ナチュラルミネラルウォーター	特定水源より採水された地下水のうち、地下で滞留又は移動中に地層中の無機塩類が溶解したもの(鉱水・鉱泉水等)	ろ過、沈澱及び加熱殺菌以外の物理的・化学的処理を行わないもの
ミネラルウォーター	ナチュラルミネラルウォーターの原水と同じ	ろ過、沈澱及び加熱殺菌以外に次の処理を行ったもの 複数の原水の混合、ミネラル分の調整、ばっ気、オゾン殺菌、紫外線殺菌等
ボトルウォーター又は飲用水	飲用適の水(純水・蒸留水・河川の表流水・水道水等)	処理方法の限定はない

実は水道水とペットボトル入り飲料水との決定的な違いは、その殺菌方法と言えます。加熱殺菌を行うペットボトル入り飲料水に対し、水道水は塩素注入による殺菌を行っています。

殺菌のために入れた塩素は、味覚に対してはマイナス要因の一つとなり「おいしくない」と言われがちですが、一度冷蔵庫で冷やしてみてください、市販のペットボトル入り飲料水と変わりなくご賞味いただけます。安くて安全・安心な水はいつでもご家庭に届けられているのです。